

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
 【発行日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【公開番号】特開2013-240991(P2013-240991A)  
 【公開日】平成25年12月5日(2013.12.5)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-065  
 【出願番号】特願2013-77263(P2013-77263)  
 【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月15日(2016.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

前記チップに実装された複数のノズル列は、ノズルの配列方向に、前記複数のノズルのピッチ間隔より短い長さ分ずらされて配置されることを特徴とする請求項 5 に記載の記録装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

前記チップに実装された複数のノズル列は、ノズルの配列方向に、前記複数のノズルのピッチ間隔より短い長さ分ずらされて配置されることを特徴とする請求項 1 4 に記載のレジストレーション調整の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 8】

複数のノズルを第 1 の方向に配列したノズル列を有する記録ヘッドを搭載したキャリッジを前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に往復走査して記録を行う記録装置のレジストレーション調整の方法であって、

前記キャリッジの往路方向の走査と復路方向の走査で前記記録ヘッドのノズル列を用いて、第 1 調整パターンを記録媒体に記録する工程と、

前記第 1 調整パターンを形成する複数のパッチのうちの 2 つの記録位置の距離に基づいて第 1 のレジストレーション調整値を取得する工程と、

前記第 1 のレジストレーション調整値により前記記録ヘッドのレジストレーションが調整された状態で、前記キャリッジの前記往路方向の走査と前記復路方向の走査で前記記録ヘッドのノズル列を用いて、前記第 1 調整パターンとは異なる第 2 調整パターンを記録媒体に記録する工程と、

前記第 2 調整パターンを形成する複数のパッチの濃度に基づいて第 2 のレジストレーション調整値を取得する工程とを有することを特徴とするレジストレーション調整の方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明をまたさらに別の側面から見れば、複数のノズルを第 1 の方向に配列したノズル列を有する記録ヘッドを搭載したキャリッジを前記第 1 の方向と交差する第 2 の方向に往復走査して記録を行う記録装置のレジストレーション調整の方法であって、前記キャリッジの往路方向の走査と復路方向の走査で前記記録ヘッドのノズル列を用いて、第 1 調整パターンを記録媒体に記録する工程と、前記第 1 調整パターンを形成する複数のパッチのうちの 2 つの記録位置の距離に基づいて第 1 のレジストレーション調整値を取得する工程と、前記第 1 のレジストレーション調整値により前記記録ヘッドのレジストレーションが調整された状態で、前記キャリッジの前記往路方向の走査と前記復路方向の走査で前記記録ヘッドのノズル列を用いて、前記第 1 調整パターンとは異なる第 2 調整パターンを記録媒体に記録する工程と、前記第 2 調整パターンを形成する複数のパッチの濃度に基づいて第 2 のレジストレーション調整値を取得する工程とを有することを特徴とする。